

With

ウィズ



～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

中川（全市域）・金森（浜脇・西宮浜）・吉岡（安井・今津南）・廣末（上甲子園）・上野（深津・
瓦木）・渡（甲東）・南（甲山・甲武）・角（小松・高須）・春（浜甲子園）・構（塩瀬・山口）

※（ ）内は地域包括支援センター圏域で表記

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり推進課

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

☎(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 ✉kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター
活動トピックス

つどい場交流会開催!!

※「つどい場」とは、個人の家や集会所、空き店舗などを活用し、
住民同士がより身近に、気軽に集まれる地域の居場所です。

2月8日(土)に市内でつどい場をされている方々が集まるつどい場交流会を開催しました。

今回は、3名のゲストによるトークライブと50名を超える参加者同士の意見交換会で、
“つどい場”について改めてみんなで考えました。

普段の活動で感じている熱い思いを語り合う機会となりました。

意見交換会ではグループに分かれて、「あなたにとってのつどい場とは？」を話し合いました。当日の様子は裏面をご覧ください♪



ゲスト3名の「あなたにとってのつどい場とは？」



こうろえんΣ(しぐま):藤岡さん(写真左より順番に)

→中心(「ここ」をやらないと出会えなかった人がいて、私の生活の一部になっている)

ふくふくサロン:上村さん

→我家のリビングルーム(悲しいこと嬉しいこと失敗も全部がある安心安全な場所)

このゆびとまれ:松本さん

→私の居場所(取り柄がなくても「ここ」にいていい。みんなが作ってくれる場所)

3名とも自身の居場所ややりがいになっているのだと思います。自分にとって大切な場であるからこそ、そこに来られる方々にとっても大切な場になっていくのだと感じました。



さんびお~symbiose~ 鳴尾西地区

生活支援コーディネーター訪問記
ええもんめっけ!

こんにちは!生活支援コーディネーター1年目の春(はる)です。
今回は、鳴尾西地区にあるつどい場「さんびお」さんをご紹介します!
2024年9月、武庫川すずかけ作業所の1階にオープンしました。
ぜひ覗いてみてください♪



『障害のある子を育ててきた母たちが、高齢になっても引きこもることなく、お互いに見守り合える場。愚痴も悩みも吐き出せる場。子育て世代、地域の人たちを含めて、「障害」という共通項をベースに、色々な立場の人たちが、出会い知り合える場。その先に福祉サービスの隙間を埋める仕組みを考えたり、小さく作ってみたり...。そんな「場所」になりたい、「資源」になりたい』というスタッフの大きな思いで運営されています。

さんびおスタッフの皆さん♪



さんびお~symbiose~の由来
フランス語で「共生」、共に生きる事。
そして、千葉県にある「カフェさんびお」
のオーナーの実践力にあこがれて。

ご自身の経験やつながりを大切に活動されています。
このつどい場やスタッフの思いが一人でも多くの方に
届くように応援していきたいと思ひます♪

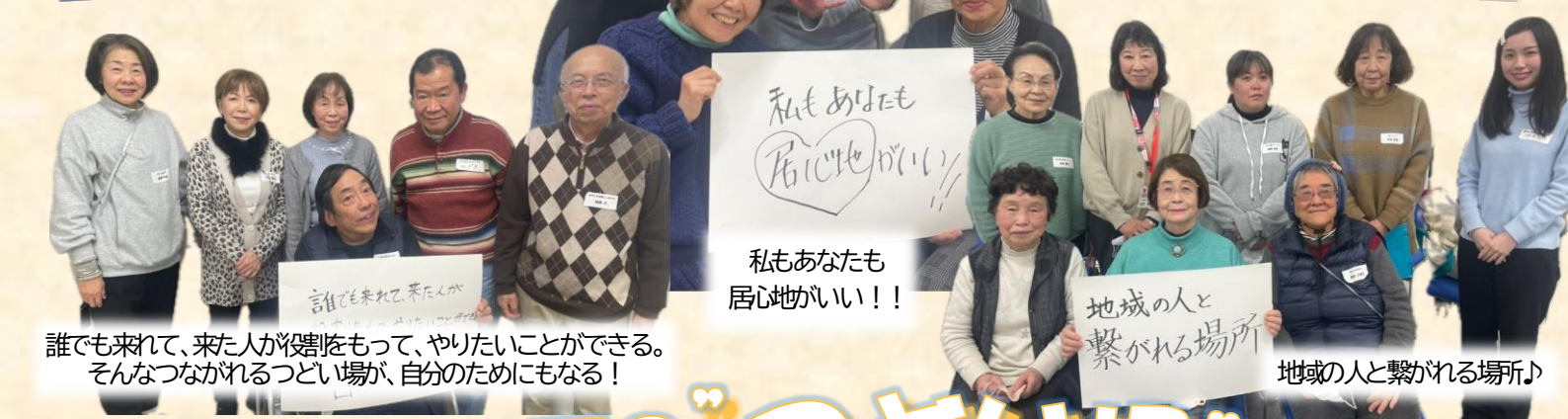
開設日時:毎週木曜日 13:30~16:00(第1木曜日除く)
場所:西宮市武庫川町4-1(武庫川すずかけ作業所)
参加費:飲み物&お菓子代 200円

～つどい場交流会参加者の皆さんに聞いてみました♪～



誰もが幸せになれる
主役になれる場所♪

出逢うからおしゃべりが出来る
笑顔になる場所♪



私もあなたも
居心地がいい!!

誰でも来れて、来た人が役割をもって、やりたいことができる。
そんなつながれるつどい場が、自分のためにもなる!

地域の人と繋がる場所♪

「あなたにとっての“つどい場”とは？」



情報交換 やすらぎ、いいい
くらげ場!! いろいろでOK!



生き甲斐 おい!! 笑顔!



昔の(ほっこり)路地♪



笑顔が集まる場所♪

「近くのつどい場に行ってみたい」「自分でつどい場を始めたい」「つどい場を応援したい(ボランティアや寄付等)」等“つどい場”に関心を持った方は、ぜひお気軽にお問い合わせください♪

にしま〜れ
(西宮市社会資源情報サイト)
市内の様々なつどい場等の情報掲載



問い合わせ先: 共生のまちづくり推進課(0798)61-1361